

|  |  |     |       |         |                                  |       |      |
|--|--|-----|-------|---------|----------------------------------|-------|------|
| 授業科目   | 特別研究<br>Special Study on Degree Thesis                                 |     |       | 担当教員    | 岡本 美紀 熊井まどか 古賀 貴子<br>佐々木 裕 野村 秀一 |       |      |
| 展開方法   | 研究指導   | 単位数 | 10 単位 | 開講年次・時期 | 1～2 年                            | 必修・選択 | 必修   |
| 授 業 の ね ら い  |  |     |       |         |                                  |       |      |
| <p>特別研究は、学生が選択した研究領域の講義・演習により修得した基礎・専門的知識や技術の活用、さらに研究領域に関連する研究論文（文献）の検討を踏まえて、決定した研究テーマについて研究計画を立案し、その計画に従って研究(実験・調査など)を実施し、得られた研究結果を科学的および総合的に論議しまとめをして、研究発表を行い、研究論文を作成できる能力を身に付けることである。</p> |  |     |       |         |                                  |       |      |
|  | 学生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標   |     |       |         | 評価手段・方法                          |       | 評価比率 |
| 関心・意欲<br>・態度   | 研究テーマに主体的、計画的、意欲的に取り組むことができる。  |     |       |         | ・ 公開審査（発表）                       |       | 10%  |
| 思考・判断  | 研究テーマに沿った実験・調査などを自主的に考え行動に移し、問題解決に向け科学的かつ総合的な判断ができる。                   |     |       |         | ・ 修士論文                           |       | 30%  |
| 技能・表現  | 研究に必要な実験機器類、パソコン、統計・解析ソフトを使用することができる。                                  |     |       |         | ・ 修士論文                           |       | 20%  |
|  | 研究結果の検討・考察のために必要な情報収集ができる。   |     |       |         | ・ 公開審査（発表）                       |       | 10%  |
|  | 研究成果をわかりやすく発表でき、論文にまとめることができる。   |     |       |         |                                  |       |      |
| 知識・理解  | 修得した基礎・専門的な知識と技術を活用して研究を実施し、研究成果をまとめることができる。<br>研究過程で生じる課題を解決することができる。 |     |       |         | ・ 修士論文                           |       | 30%  |
| 出 席  |  |     |       |         |                                  |       | 受験要件 |
| 合 計  |  |     |       |         |                                  |       | 100% |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明  |  |     |       |         |                                  |       |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修士論文（80%）、公開審査（発表）（20%）の割合で評価する。</li> <li>・ 修士論文は、論文の内容に科学的な妥当性があるかどうかを評価する。</li> <li>・ 公開審査（発表）は、発表の態度、研究に対する質疑応答の内容と態度で総合的に評価する。</li> </ul>       |  |     |       |         |                                  |       |      |
| 授 業 の 概 要  |  |     |       |         |                                  |       |      |
| <p>学生が選択した研究領域の中から、指導教員の指導のもとに決定した研究テーマに即した基礎・専門的知識や技術の修得と確認を行いながら、研究計画を立案し、その計画に従い研究（実験・調査）を実施し、得られた研究成果を研究領域の学会において研究発表を行い、その後、修士論文を作成する。</p>  |  |     |       |         |                                  |       |      |
| 教 科 書 ・ 参 考 書  |  |     |       |         |                                  |       |      |
| 指導教員により、必要に応じて適宜指定する   |  |     |       |         |                                  |       |      |
| 授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と  |  |     |       |         |                                  |       |      |
| <p>研究の遂行に必要な基礎・専門的知識と技術の修得、研究論文の読解力、調査力、論議力、発表能力を養うように、積極的・自主的に探究心をもって日々勉学に励んでください。</p> <p>研究領域に関連する学会に出席し、多くの研究者の研究発表を拝聴して、多くのことを学んでください。</p>   |  |     |       |         |                                  |       |      |